

The logo for PECB, featuring the letters 'PECB' in a bold, white, sans-serif font. The letters are slightly spaced out, and the 'E' and 'C' have a unique, modern design with cutouts.

PECB

BEYOND RECOGNITION

A background image showing a modern office environment with large glass windows. In the foreground, a woman in a dark suit and a man in a light suit are walking and looking at a tablet together. The scene is dimly lit, suggesting an evening or indoor lighting.

ISO/IEC 42001 LEAD AUDITOR

候補者ハンドブック

目次

PECB について	3
PECB 認証の価値	5
PECB 倫理規定	7
ISO/IEC 42001 Lead Auditor について	9
セクション 2：試験準備、規則、および方針	10
試験への準備とスケジュール	10
力量領域	12
受験	21
試験セキュリティ方針	25
試験結果	26
再受験方針	26
セクション 3：認証プロセスおよび要求事項	28
PECB ISO/IEC 42001 資格	28
認証の申請	29
専門的な経験	30
専門家による推薦状	30
AIMS 審査の経験	30
認証申請の評価	30
セクション 4：認証方針	31
認証の拒否	31
認証ステータスの項目	31
資格のアップグレードまたはダウングレード	32
認証の更新	33
案件の終了	33
苦情および不服申し立てに関する方針	33
セクション 5：全般的な方針	34
他の認定認証機関による試験および認証	34

差別の撤廃と特別な配慮.....	34
行動方針.....	34
返金方針.....	35

セクション1：はじめに

PECB について

Professional Evaluation and Certification Board (PECB) は、さまざまな分野で個人に対して教育¹、認証、および認証プログラムを提供する認証機関です。

世界 150 ヶ国以上に展開する当社では、国際的に公認された基準に照らした価値ある評価、認証、および認証プログラムを提供することで、専門家が様々な専門分野で能力を発揮できるよう支援しています。

私たちの主な目標は以下の通りです：

1. 専門家の認証および資格付与に必要な最低要件を定める
2. 個人の資格を審査・確認し、認証の適格性を確認する
3. 個人を認証するための評価プロセスを維持し、継続的に改善する
4. 有資格者を認証し、資格を付与し、それぞれの名簿を管理する
5. 認証の定期的な更新要件を定め、認証取得者がその要件を遵守していることを確認する
6. PECB プロフェッショナルが、その専門的業務において倫理基準を満たしていることを確認する
7. 利害関係者の代表として、共通の関心事に取り組む
8. 専門家、企業、政府、および公衆に対し、認証および認証プログラムの利点を周知する

私たちのミッション

クライアントに信頼を醸成し、社会全体に利益をもたらす包括的な試験および認証プログラムサービスを提供する。

¹教育とは、PECB が開発し、パートナーを通じてグローバルに提供するトレーニングコースを指します。



私たちのビジョン

専門的な認証サービスおよび認証プログラムの提供において、世界の基準となる。

私たちの価値観

誠実性、プロフェッショナリズム、公平性

PECB 認証の価値

世界的な認知度

PECB の資格は国際的に公認され、多くの認定機関によって承認されているため、資格取得を目指す専門家は、国内外市場において PECB の認知度の恩恵を受けることができます。

PECB 認証の価値は、Internal Accreditation Service (IAS-PCB-111)、United Kingdom Accreditation Service (UKAS-No. 21923)、Korean Accreditation Board (KAB-PC-08) による、「ISO/IEC 17024 - 要員の認証を実施する機関に対する一般要求事項」の認定によって証明されています。PECB 認証プログラムの価値は、ANSI National Accreditation Board (ANAB-Accreditation ID 1003) による、ANSI/ASTM E2659-18, Standard Practice for Certificate Programs の認定によって証明されています。

PECB は、The Independent Association of Accredited Registrars (IAAR) の準会員、International Personnel Certification Association (IPC) の正会員、IPC MLA の署名会員、Club EBIOS、CPD Certification Service、CLUSIF、Credential Engine、ITCC の会員です。さらに、PECB は、Cybersecurity Maturity Model Certification Accreditation Body (CMMC-AB) から Cybersecurity Maturity Model Certification (CMMC) 基準の認定パートナーパブリッシャー (LPP) として承認されており、Club EBIOS から EBIOS リスクマネージャースキル認証提供の承認を受け、CNIL (Commission Nationale de l'Informatique et des Libertés) から DPO 認証提供の承認を受けています。より詳細な情報は [こちら](#) をご覧ください。

高品質の製品とサービス

私たちは、クライアントのニーズと要望に合った高品質の製品とサービスを提供できることを誇りに思っています。私たちの製品はすべて、エキスパートとプロフェッショナルで構成されるチームによって、ベストプラクティスおよび方法論に基づいて慎重に準備されています。

規格への準拠

私たちの認証および認証プログラムは、ISO/IEC 17024 および ASTM E2659 に準拠していることを証明するものです。これらは、規格要求事項が十分な一貫性、専門性、および公平性をもって満たされ、検証されていることを保証するものです。

顧客志向のサービス



PECBは顧客志向の会社であり、すべてのクライアントに価値、重要性、プロフェッショナリズム、および誠意を持って接しています。PECBには、要望、質問、およびニーズに対応する専門家チームがあります。サービスの質を落とすことなく、24時間以内の返答を維持するよう最善を尽くしています。

柔軟性と利便性

オンライン学習では、自分のライフスタイルに合わせて学習セッションのスケジュールを組むことができるため、専門家としての道をより便利に歩むことができます。このような柔軟性は、自由な時間を増やし、キャリアアップの機会を提供し、費用を削減します。

PECB 倫理規定

PECB は、サービスの提供およびクライアントの誘致における価値観および倫理観の重要性を認識しており、この倫理規定は、PECB が従うことを全面的に約束する最高の価値観と倫理観を表しています。

コンプライアンス部門は、PECB の従業員、トレーナー、試験官、試験監督、パートナー、ディストリビューター、各種諮問委員会および委員会のメンバー、認証を持つ個人、および認証書保持者（以下、「PECB プロフェッショナル」）がこの倫理規定を遵守することを確実にします。さらに、コンプライアンス部門は、申請者、候補者、認証を持つ個人、認証書保持者、認定機関、政府当局など、社内外の利害関係者に対して、専門家として、十分な責任、能力、公平性を持ってサービス提供にあたることの必要性を一貫して強調しています。

組織の成功を達成するためには、クライアントやステークホルダーのニーズと期待を十分に理解する必要がある、というのが PECB の信念です。その為に PECB は、私たちの価値観でもある誠実性、プロフェッショナルリズム、公平性を最高レベルで追及する企業文化を育てています。これらの価値観は組織にとって不可欠なものであり、長年にわたるグローバルな存在感と成長を特徴づけ、PECB が今日享受している名声を確立してきました。

PECB は、健全で強固な人間関係を築くためには、強い倫理観が不可欠だと考えています。したがって、PECB プロフェッショナルが PECB の原則と価値観を完全に遵守した行動をとっていることを確認することは、PECB の第一の責任です。

PECB プロフェッショナルには、以下の責任があります：

1. サービス提供において、実直性、正確さ、公平性、および独立性をもって、専門家としての振る舞いを示すこと
2. サービス提供において、常に雇用主、クライアント、公衆、および専門職の最善の利益のためだけに、この倫理綱領およびその他の専門職基準に従って行動すること
3. 各分野において能力を発揮し、発展させ、自らのスキルと知識を継続的に向上させるよう努めること
4. 資格と能力を有する者にのみサービスを提供し、提案されるサービスの性質について、関連する懸念事項やリスクを含め、クライアントや顧客に適切に通知すること
5. 自分の判断に影響を与えたり、損なったりする可能性のあるビジネス上の利害関係や提携について、雇用主またはクライアントに知らせること
6. サービス提供中、現在または過去の雇用主やクライアントに関する情報の守秘義務を守ること

7. サービス提供が行われた国の管轄区域の適用される全ての法律および規制を遵守すること
8. 他者の知的財産と貢献を尊重する
9. PECB 認証の候補者または PECB 認証プログラムの評価プロセスの信頼性を損なうような、意図的な虚偽または改ざん情報を伝えないこと
10. 適切なライセンスを持たずに PECB 代表として虚偽または不正な表示をしたり、PECB のロゴ、認証、認証書を悪用したりしないこと
11. PECB の評判、認証、認証プログラムに損害を与えるような行動をとらないこと
12. 本倫理規定違反の申し立て後の調査に全面的に協力すること

PECB の倫理規定の完全版を読むには、[Code of Ethics | PECB](#) にアクセスしてください。

ISO/IEC 42001 Lead Auditor について

ISO/IEC 42001 は、AI マネジメントシステム (AIMS) を確立し、導入実践し、維持し、継続的に改善するための要求事項を規定しています。組織は、AIMS の導入実践に加え、導入実践した AI システム、管理策、およびプロセスが意図した結果を生み出していることを確実にする必要があります。審査によって、組織は AIMS の有効性を評価することができ、さらに改善することができます。

PECB が提供するトレーニングコースは、参加者が ISO/IEC 42001 の認証プロセスに適合した審査を効果的に計画・実施し、審査技法と実務を適用し、審査チームと審査プログラム (またはその一員) を管理する能力を高めるのに役立ちます。

審査が最も需要の高い職業の 1 つであることを考慮すると、国際的に認められた資格は、職業上の目標を達成するのに役立ちます。「ISO/IEC 42001 Lead Auditor」は、人工知能マネジメントシステムを審査し、審査チームを率いる能力を証明することを目指す個人のための専門資格です。

PECB 認証は、ライセンスや単なる会員資格ではありません。この資格は、私たちのトレーニングコースで得た知識とスキルを証明するもので、必要な経験を積み、試験に合格した候補者に発行されます。

本文書は、ISO/IEC 17024:2012 に準拠した、PECB ISO/IEC 42001 Lead Auditor 認証スキームを規定しています。また、候補者が資格を取得し、維持するために取るべき手順についても概説しています。そのため、申請書に記入し提出する前に、この文書に記載されている全ての情報を注意深く読むことが非常に重要となります。本書を読み、質問がある場合、または更なる情報が必要な場合は、PECB 国際事務局 certification.team@pecb.com までお問い合わせください。

セクション 2：試験準備、規則、および方針

試験への準備とスケジュール

すべての候補者は、各自勉強し、認証試験に備える責任があります。候補者のトレーニングコースへの参加は受験資格を得るための必須条件ではありませんが、トレーニングコースに参加することで、試験に合格する可能性を大幅に高めることができます。

候補者が受験する為には2つの選択肢があります：

1. 認証パートナーに連絡する。お住まいの地域の認証パートナーを検索するには、[Active Partners](#) にアクセスしてください。トレーニングコースのスケジュールは [Training Events](#) からオンラインでご覧いただけます。
2. [PECB Exams application](#) を使ってリモートで PECB 試験を受験する。リモート試験のお申し込みは、以下のリンクから行えます：[Exam Events](#).

試験、力量領域、知識についての詳細は、本文書の [セクション3](#) を参照してください。

試験の再スケジュール

試験日時、場所、その他の詳細に関する変更については、online.exams@pecb.com までご連絡ください。

試験および認証の申請料

候補者は、トレーニングコースに参加しなくても試験を受けることができます。適用される価格は以下の通りです：

- Lead 試験：\$1000²
- Manager 試験：\$700
- Foundation 試験：\$500
- Transition 試験：\$500

認証申請料は\$500 です。

²本書に記載されている価格はすべて米ドルです。



PECB パートナーを通じてトレーニングコースを受講した候補者は、受験料（初回受験料および再受験料）、認証申請料、初年度の Annual Maintenance Fee（AMF）が申請料に含まれます。

力量領域

「ISO/IEC 42001 Lead Auditor」は、人工知能マネジメントシステムを審査し、審査チームを率いる能力を証明することを目指す個人のための専門資格です。

市場で求められる最も重要なスキルは、認証プロセスに適合した審査を効果的に計画・実施する能力、審査技術や実務を適用する能力、審査チームや審査プログラムを管理する（またはその一員となる）能力です。

ISO/IEC 42001 Lead Auditor 認証は、以下の方を対象としています：

- 内部監査、外部審査を問わず審査の経験を有し、AI マネジメントシステムの審査に特化したい方
- AI マネジメントシステム審査プロセスの習得を目指すマネージャーまたはコンサルタント
- 組織における AI マネジメントシステムの要求事項への適合性維持の責任者
- AI マネジメントの専門アドバイザー
- AI 導入のためのビジネス要件の分析と理解に携わる専門家
- AI ソリューションの開発・導入や AI システムのアーキテクチャ設計に携わる個人

試験内容は以下のように分かれています：

- **領域 1**：AI マネジメントシステムの基本的な原則および概念
- **領域 2**：AI マネジメントシステムの要求事項
- **領域 3**：審査の基本的な概念および原則
- **領域 4**：ISO/IEC 42001 審査の準備
- **領域 5**：ISO/IEC 42001 審査の実施
- **領域 6**：ISO/IEC 42001 審査の終了
- **領域 7**：ISO/IEC 42001 審査プログラムのマネジメント

領域 1: AI マネジメントシステムの基本的な原則および概念

主要な目標: ISO/IEC 42001 に基づき、人工知能および AIMS の原理および概念を説明し、適用できることを確認する。

力量	知識
1. ISO が開発したマネジメントシステム規格の適用範囲および多様性を認識できる能力	1. 人工知能に関連する ISO 規格の主な目的および構造に関する知識
2. ISO/IEC 42001 の適用範囲を説明できる能力	2. ISO/IEC 42001 適用範囲に関する知識
3. 認証プロセスに関与するさまざまな利害関係者（認証機関、認定機関など）の役割を区別できる能力	3. ISO/IEC 42001 への準拠を検証する際の認証機関、認定機関、および認証スキームの役割に関する知識
4. ISO/IEC 42001 と他の ISO 規格および規制の枠組みとの関係について議論できる能力	4. 人工知能の主要な概念に関する知識
5. 人工知能の主要な概念について説明できる能力	5. 機械学習、深層学習、およびニューラルネットワークの基本的な概念に関する知識
6. 機械学習、深層学習、およびニューラルネットワークなど、人工知能のさまざまな下位分野を区別できる能力	6. 認知コンピューティング、セマンティックコンピューティング、およびソフトコンピューティングの基本的な概念に関する知識
7. AI システムのライフサイクルのステージとハイレベルプロセスを分析し解釈できる能力	7. AI システムのライフサイクルの反復的性質に関する知識
8. AI システムの進化を通じて効果的に計画、開発、展開、および維持するために、AI システムのライフサイクルマネジメントの原則を適用できる能力	8. AI の開発および展開に関連する倫理原則およびガイドラインに関する知識

領域 2 : AI マネジメントシステムの要求事項

主要な目標 : 候補者が ISO 42001 に基づく AI マネジメントシステムの要求事項を特定し、説明できることを確認する

力量	知識
<ol style="list-style-type: none"> 1. ISO/IEC 42001 の構造を説明できる能力 2. AI マネジメントシステムの構成要素を特定できる能力 3. ISO/IEC 42001 の要求事項を区別、解釈、および分析できる能力 4. ISO/IEC 42001 の附属書 A、B、C、および D の概要を説明できる能力 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ISO/IEC 42001 で使用される用語および定義に関する知識 2. ISO/IEC 42001 の全体的な構造および主要な要求事項に関する知識 3. ISO/IEC 42001 の箇条 4 から箇条 10 に概説されている要求事項に関する知識 4. ISO/IEC 42001 の附属書 A、B、C、D の目的に関する知識 5. AI マネジメントシステムの開発、導入実践、維持、および継続的改善への適用を含む、ISO/IEC 42001 に概説されているプロセスアプローチに関する知識

領域 3：審査の基本的な概念および原則

主要な目標候補者が AIMS 審査に関する主要な概念および原則を解釈し、適用できることを確認する

力量	知識
1. AIMS 審査における審査原則を説明および適用できる能力	1. ISO 19011 に記載されている主な審査概念および原則に関する知識
2. 第一者、第二者、および第三者審査を区別できる能力	2. 第一者、第二者、および第三者審査の違いに関する知識
3. 審査員のプロフェッショナリズムを失墜させるような状況を特定および分析できる能力	3. 審査の原則に関する知識：誠実さ、公正な報告、専門家としての正当な注意、機密保持、
4. 規制上の要求事項および審査依頼人に関する義務を考慮した倫理的問題を特定および説明できる能力	独立性、証拠に基づくアプローチ、およびリスクに基づくアプローチ
5. 審査手順に影響を及ぼす可能性のあるトレンドおよび技術について説明できる能力	4. 審査員の職業的責任に関する知識
6. AIMS 審査のさまざまな段階において、重要性のレベルを決定・評価し、リスクに基づくアプローチを適用できる能力	5. 審査手順を強化するために AI と組み合わせて使用できる補完的技術に関する知識
7. 被審査者が犯した不法行為に関連する法的な影響を考慮および評価できる能力	6. 証拠に基づく審査および審査証拠の種類に関する知識
8. AIMS 審査に必要な合理的な保証の適切なレベルを特定できる能力	7. 審査に対するリスクに基づくアプローチおよび審査活動に関連する固有リスク、統制リスク、および発見リスクなどのさまざまな種類のリスクに関する知識
9. 審査プロセスを合理化し改善するために AI 技術を統合できる能力	8. 重要性の概念および審査への適用に関する知識
	9. 合理的保証の概念および審査への適用に関する知識

領域 4 : ISO/IEC 42001 審査の準備

主要な目標候補者が AI マネジメントシステム 審査を準備できることを確認する。

力量	知識
<ol style="list-style-type: none"> 1. 審査の具体的な状況を考慮した AIMS 審査を準備するために必要なステップおよび活動を説明および実施できる能力 2. 審査チームリーダー、審査チームメンバー、および技術専門家の役割および責任を定義説明できる能力 3. 審査の実現可能性を決定できる能力 4. AIMS 審査の目的、基準、および範囲を決定、評価、および確認できる能力 5. 審査契約条件の特徴を定義および説明し、被審査者との初回連絡を確立するためのベストプラクティスを適用できる能力 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 審査チームリーダーおよび審査チームメンバーの主な責務に関する知識 2. 技術専門家の役割および責任に関する知識 3. 審査の目的、範囲、および基準に関する知識 4. AIMS の適用範囲と審査範囲の違いに関する知識 5. 審査の実行可能性を決定する際に考慮すべき要因に関する知識 6. 審査契約条件の特徴と、被審査者との初回連絡を確立するためのベストプラクティスに関する知識

領域 5 : ISO/IEC 42001 審査の実施

主要な目標候補者が AIMS 審査を実施できることを確認する。

力量	知識
1. 文書化された情報の評価基準を考慮し、ステージ1審査を実施できる能力	1. 審査における初回会議の目的および焦点に関する知識
2. 初回会議を企画・実施できる能力	2. ステージ1審査とステージ2審査の違いに関する知識
3. ステージ2審査が必要とする手順に適切に従うことにより、ステージ2審査を実施できる能力	3. ステージ1審査とステージ2審査の要求事項、ステップ、および活動に関する知識
4. 審査証拠を収集する際、効果的なコミュニケーションのベストプラクティスを適用できる能力	4. 審査中の効果的なコミュニケーションのベストプラクティスに関する知識
5. 審査証拠収集の手順およびツールを説明および適用できる能力	5. インタビュー、文書化された情報の確認、観察、分析、サンプリング、技術的検証などの、証拠収集の手順およびツールに関する知識
6. 主な審査サンプリング方法を説明および適用できる能力	6. 証拠分析手法（裏付けおよび評価）に関する知識
7. 審査中に必要な証拠を収集し、それを客観的に評価できる能力	7. 審査で使用される主な証拠収集手順に関する知識
8. AIMS 審査において、審査作業文書を作成し、適切な審査テスト計画を立案できる能力	8. 審査テスト計画作成のベストプラクティスに関する知識
9. 疑わしきは罰せずの概念を説明および適用できる能力	9. 審査中の案内役およびオブザーバの役割および責任に関する知識
	10. 文書化された情報の評価基準および ISO/IEC 42001 の要求事項に関する知識
	11. 疑わしきは罰せずの原則およびマネジメントシステム審査におけるその適用に関する知識

領域 6 : ISO/IEC 42001 審査の終了

主要な目標候補者が、AIMS 審査の完了および審査フォローアップ活動の実施ができることを確認する。

力量	知識
<ol style="list-style-type: none"> 1. 審査目的および基準に照らして審査所見に対するレビューを実施できる能力 2. 最終会議を計画および実施できる能力 3. 審査結論を起草および提示できる能力 4. ISO/IEC 17021-1 要求事項に従って審査報告書を作成できる能力 5. 処置計画を評価できる能力 6. 審査記録の完全性、可用性、および機密性を保護できる能力 7. 審査文書に対する品質レビューを実施できる能力 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 審査所見評価プロセスに関する知識 2. 最終会議を計画および実施するための ISO/IEC 17021-1 の要求事項に関する知識 3. 審査結論の起草および提示のためのベストプラクティスに関する知識 4. 審査報告書の作成および内容に関する ISO/IEC 17021-1 の要求事項に関する知識 5. 処置計画を評価するためのベストプラクティスに関する知識 6. 審査記録の完全性、可用性、および機密性を保護することの重要性に関する知識 7. 審査作業文書の完成および品質レビューの実施のためのベストプラクティスに関する知識

領域 7 : ISO/IEC 42001 審査プログラムのマネジメント

主要な目標候補者が AIMS 審査プログラムを確立し、管理できることを確認する。

力量	知識
1. 審査のフォローアップおよびサーベイランス活動を含む、初回審査後の活動を実施できる能力	1. 審査のフォローアップ、サーベイランス審査、ならびに再認証審査の要求事項、手順、および活動に関する知識
2. PDCA サイクルに基づく審査プログラムを確立できる能力	2. 審査プログラムのマネジメントにおける PDCA モデルの適用に関する知識
3. 審査プログラムの有効性を評価し、審査チームのパフォーマンスを監視できる能力	3. 審査記録のマネジメントに関する要求事項、ガイドライン、およびベストプラクティスに関する知識
4. 認証プロセスを効率的に計画・管理できる能力	4. 複合審査に関する知識
5. 商標使用規定の遵守を確実にできる能力	5. 認証サイクルプロセスに関する知識
	6. 商標使用要件に関する知識

上記の領域とその関連性に基づいて、試験には下表のように 80 問の選択肢式問題が含まれています：

		要求される理解度（認知 / 分類）			
		力量領域ごとの問題数 / 点数	各力量領域に割かれる試験点数の割合	理解力、応用力、および分析力を測る問題	評価を測る質問
力量領域	AI マネジメントシステムの基本的な原則および概念	12	15	X	
	AI マネジメントシステムの要求事項	8	10	X	
	審査の基本的な概念および原則	16	20		X
	ISO/IEC 42001 の審査の準備	9	11.25	X	
	ISO/IEC 42001 審査の実施	19	23.75		X
	ISO/IEC 42001 審査の終了	7	8.75	X	
	ISO/IEC 42001 審査プログラムのマネジメント	9	11.25		X
	計	80	100%		
理解度別の問題数				36	44
各理解度（認知 / 分類）に占める試験の割合				45%	55%

試験の合格スコアは 70% です。

試験に合格した候補者は、「PECB Certified ISO/IEC 42001 Lead Auditor」の資格取得を申請することができます。

受験

試験に関する一般事項

候補者は遅くとも試験開始の 30 分前までに到着 / 出席してください。

遅刻した候補者に遅刻を補うための追加時間は与えられません。また、受験を許可されない場合があります。

候補者は有効な身分証明書（ナショナル ID カード、運転免許証、パスポート）を持参し、試験監督に提示してください。

試験（ペーパー試験）当日に申し出があった場合、母国語以外で受験する候補者は、以下のように試験時間を延長することができます：

- Foundation 試験では 10 分追加
- Manager 試験では 20 分追加
- Lead 試験では 30 分追加

PECB 試験の形式および種類

1. **ペーパー試験**：試験は紙上で行われ、候補者は試験用紙とペン以外は使用できません。ノートパソコン、タブレット、携帯電話などの電子機器の使用は禁止されています。試験は、パートナーが研修コースを開催した場所において、PECB が承認した試験監督が監督します。
2. **オンライン**：試験は PECB Exams アプリケーションを通じて電子的に提供されます。ノートパソコン、タブレット、携帯電話などの電子機器の使用は禁止されています。試験は、PECB 試験アプリケーションと外部 / 内蔵カメラを介して、PECB 試験監督によって遠隔監督されます。

オンライン試験の詳細については、[PECB Online Exam Guide](#) をご覧ください。

PECB 試験には 2 種類あります：

1. 論文式試験
2. 選択肢式試験

この試験は**選択肢式問題**で構成されています：選択肢式試験は、単純な概念と複雑な概念の両方について、候補者の理解度を評価するために用いることができるものです。単独の問題とシナリオに基づく問題の両方で構成されています。単独の問題は試験の中で独立しており文脈に依存しないのに対し、シナリオに基づく問題は文脈に依存します。つまり後者は、候補者に読ませるシナリオに基づいて作成され、そのシナリオに関連する5つの質問に対する解答が求められます。単独の問題やシナリオに基づく問題に解答する際、候補者はトレーニングコースで説明された様々な概念や原則を適用し、問題を分析し、選択肢を特定・評価し、複数の概念やアイデアを組み合わせるなどの作業が求められます。

各選択肢式問題には3つの選択肢があり、そのうち1つは正解の選択肢（キーとなる回答）で、2つは不正解の選択肢（デストラクター）です。

この試験は資料持ち込み可の試験です。候補者は、以下の参考資料を使用することができます：

- 印刷済みの ISO/IEC 42001 規格票
- トレーニングコースの資料（PECB Exams アプリからのアクセス、または印刷したもの）
- トレーニングコース中に取った個人的なメモ（PECB Exams アプリからのアクセス、または印刷したもの）
- 紙の辞書

以下に試験問題のサンプルが掲載されています。

注記：PECB は今後、**選択肢式試験**に順次移行していきます。それらは資料持ち込み可となる予定であり、PECB が候補者の、情報を新しい状況に利用し（適用）、アイデアの間に関連を引き出し（分析）、立場や決定の正当性を示すことができる（評価）知識、能力、およびスキルを評価するためのシナリオに基づく質問を含みます。

試験の種類、利用可能な言語、およびその他の詳細情報については、examination.team@pecb.com にお問い合わせいただくか、[List of PECB Exams](#) を参照してください。

試験問題例

人工知能 (AI) ソリューションを専門とする A 社は、ISO/IEC 42001 認証プロセスの一環として、ステージ 1 審査に向けて準備を進めている。この審査は、同社の AI マネジメントシステム (AIMS) を ISO/IEC 42001 の要求事項に照らして評価することを目的としている。ステージ 1 審査に備えて審査チームが編成され、John がチームリーダーに任命された。彼は審査プロセスを完了まで監督する責任を負っていた。

ステージ 1 審査において、審査チームは、まず、A 社の AI マネジメントシステムのフレームワークを理解するために、適応範囲、目的、方針を含む文書化された情報を含む戦略文書に対するレビューを実施することによって、文書化された情報を調査した。続いて審査チームは、リスクマネジメントに関する文書を調査し、A 社が AI ソリューションに関連するリスクをどのように特定、評価、軽減しているかを分析した。続いて彼らは、A 社が AI マネジメントシステムを導入・管理するための明確なガイドラインを確立しているかどうかを判断するために、プロセスと手順の文書化を調査した。続いて審査チームは、AI 関連プロセスの導入を適切に支援しているかどうかを検証するために、ワークシートや書式などの支援手順を評価した。

A 社から提供された文書化された情報に対するレビューを実施していたところ、審査チームは AI 方針と運用手順の書式に矛盾があることに気づいた。いくつかの文書には、バージョン番号や承認日などの重要な詳細が欠けていた。

審査チームは次に、セキュリティ規則に関する情報を入手し、個人用保護具の使用状況を観察することを含め、場所と事業所固有の状況を評価した。しかし、被審査者の技術インフラのすべての側面を徹底的に評価したわけではなかった。

ステージ 1 の終わりに、審査チームはステージ 1 の目的の達成に関する結論を A 社に口頭で伝え、ステージ 2 審査で不適合につながる可能性のある懸念分野を強調した。

このシナリオに基づき、以下の質問に答えよ：

1. ステージ 1 審査は正しい場所で実施されたか？
 - A. **正しい場所で実施された。被審査者の敷地内で実施されたため。**
 - B. 正しい場所で実施されていない。リモートで実施されるべきであったため。
 - C. 正しい場所で実施されていない。利益相反の可能性があるため、中立的な場所で実施されるべきであったため。

2. 審査チームは、重要な詳細が欠けた、文書化された情報を特定した。被審査者がこの問題をステージ2審査までに対処しない場合、どのような種類の審査所見に分類されるか？
 - A. 軽微な不適合
 - B. **重大な不適合**
 - C. 改善の機会

3. 審査チームは、ステージ1審査の結果の伝達を正しく処理したか？
 - A. 正しく処理した。彼らはA社に結論を伝えたため。
 - B. 正しく処理した。ステージ1審査では口頭でのコミュニケーションで十分であるため。
 - C. **正しく処理していない。彼らは結論を文書で提出すべきであった。**

4. 審査チームが取った行動によれば、審査ツールやテスト計画など、審査の詳細を効果的に準備できるか？
 - A. 効果的に準備できる。審査の場所と事業所固有の条件を評価したため。
 - B. 効果的に準備できない。被審査者の要員と接触していないため。
 - C. **効果的に準備できない。被審査者の技術的インフラのすべての側面を徹底的に評価したわけではないため。**

5. 審査チームは、分析対象となる文書化された情報を適切なアプローチで選択したか？
 - A. **適切なアプローチを使用した。まず戦略的な文書から検討し、次に他の関連文書を検討したため。**
 - B. 適切なアプローチを使用していない。リスクマネジメントに関する文書を検討する前に、プロセスおよび手順を評価したため。
 - C. 適切なアプローチを使用していない。戦略的文書を検討する前にプロセスおよび手順を評価したため。

試験セキュリティ方針

PECB は、試験および試験プロセス全体の完全性を保護することを約束し、PECB 試験の機密性を維持するために、申請者、申請希望者、候補者、およびパートナーの倫理的な行動に信頼を寄せています。この方針は、容認できない行為に対処し、全ての候補者の公正な処遇を確保することを目的としています。

PECB 試験の内容に関する情報の開示は、本方針および PECB 倫理規定に直接違反するものです。従って、PECB 試験を受ける候補者は、「試験の守秘義務および機密保持契約書」に署名し、以下の事項を遵守する必要があります：

1. 試験問題および解答は PECB の独占的な機密財産です。候補者は、PECB への試験提出が完了すると、試験の原本やそのコピーにアクセスすることができなくなります。
2. 候補者は、試験の問題や解答に関する一切の情報を口外したり、その詳細を他の候補者や個人と話し合ったりすることは禁じられています。
3. 候補者は、試験に関するいかなる資料も試験室外に持ち出すことはできません。
4. 候補者は、問題、解答、画面イメージを含むいかなる試験資料も（書き出し、コピー機による、その他手段を問わず）コピーすること、またはコピーを試みることはできません。
5. 候補者は、次のような不正な受験行為に参加したり、それを助長してはいけません：
 - 他の候補者の試験資料や解答用紙を見ること
 - 試験監督、候補者、その他全ての人に対して、援助を与えたり、受けたりすること
 - PECB が認可していない「ブレインダンプ」サイトの利用を含め、認可されていない参考書、マニュアル、ツールなどを使用すること

上記のような不正や違反を発見した場合、もしくはすでに発見している場合、候補者はその責任を持って対応するか、万が一そのような事態が発生した場合は、直接 PECB に報告、またはそのような事態を目撃した場合は、直ちに PECB に報告してください。

候補者は、PECB 試験規則および方針、守秘義務および機密保持契約、倫理規定を理解し、遵守することに全責任を負います。従って、1つまたは複数の規則違反が確認された場合、候補者にはいかなる返金も行われません。さらに PECB は、採点プロセス中および採点後に不正を確認した場合、事案の重大性に応じて、PECB 試験の受験権や、再受験を拒否する権利を有します。

上記の点に違反した場合、PECBは金銭的救済では補えない回復不能な損害を被ることになります。従って、PECBは、試験資料の不正な開示または悪用を是正または防止するために、即時差止命令の取得を含め、適切な処置を取ることができます。

PECBは、規則および方針に違反した個人に対し、PECB資格の取得を永久に禁止し、過去に取得した資格を全て取り消すなどの措置を講じます。PECBはまた、その著作権、所有権、知的財産を侵害する個人または組織に対して法的措置を追及します。

試験結果

試験結果はEメールで通知されます。

- 連絡期間は試験日から始まり、論文式試験は3週間から8週間、選択肢式のペーパー試験は2週間から4週間かかります。
- オンライン選択肢式の試験の場合、候補者は即座に結果を受け取ることができます。

試験に合格した候補者は、各認証スキームの資格のいずれかに申請することができます。

不合格となった候補者には、再受験の準備に役立つよう、成績不良の領域のリストがメールに追加されません。

結果に不服のある候補者は、結果を受け取ってから30日以内に、examination.team@pecb.com宛に書面で再評価を要請することができます。30日以上経過した後に受け取った再評価依頼は処理されません。もし候補者が再評価の結果に同意しない場合、再評価された試験結果を受け取った日から30日以内に、[PECB Ticketing System](#)を通じて苦情を申し立てることができます。30日以上経過した後に受け取った苦情は処理されません。

再受験方針

候補者の再受験回数に制限はありません。しかし、再試験間の間隔には一定の制限があります。

1回目の受験で合格しなかった場合、次の受験(1回目の再受験)には、最初の受験日から15日間待たなければなりません。

注記：パートナーでのトレーニングコースを修了し、1回目の受験で不合格となった候補者は、クーポンコードを受け取った日から12か月以内であれば、無料で再受験することができます（トレーニングコースの受講料には、1回目の受験料と1回の再受験料が含まれています）。それ以外の場合は再受験料がかかります。

再試験に不合格となった候補者には、PECBは、試験により良い準備をするために、トレーニングコースに参加することをお勧めします。

トレーニングコースを修了した候補者が再受験する場合は、試験形式に応じて、以下の手順に従ってください：

1. オンライン試験：再試験を予約する際、初回クーポンコードを使用すると受験料が免除されます。
2. ペーパー試験：候補者は、再受験の手配（日時、場所、費用）について、最初にセッションを主催した PECB パートナー / ディストリビューターに連絡する必要があります。

パートナーでのトレーニングコースを修了せず、PECB から直接オンライン試験を受験した候補者は、この方針に該当しません。再試験の日程調整方法は、初回試験と同じです。

セクション 3：認証プロセスおよび要求事項

PECB ISO/IEC 42001 資格

すべての PECB 認証には、学歴と専門的な経験に関する特定の要求事項があります。どの資格が自分に適しているかを判断するには、職業上のニーズを考慮し、資格の基準を分析してください。

PECB ISO/IEC 42001 スキームにおける資格には、以下の要求事項があります：

資格	学歴	試験	専門的な経験	MS 審査 / アセスメントの経験	その他の要求事項
PECB Certified ISO/IEC 42001 Provisional Auditor	中等教育以上	PECB Certified ISO/IEC 42001 Lead Auditor 試験、または同等の資格	なし	なし	PECB 倫理規定への署名
PECB Certified ISO/IEC 42001 Auditor			2 年間： うち 1 年は AI マネジメントに関する職務経験	合計 200 時間の審査活動	
PECB Certified ISO/IEC 42001 Lead Auditor			5 年間： うち 2 年は AI マネジメントに関する職務経験	少なくとも 300 時間の審査活動	
PECB Certified ISO/IEC 42001 Senior Lead Auditor			10 年間： うち 7 年は AI マネジメントに関する職務経験	合計 1,000 時間の審査活動	

審査活動が有効とみなされるためには、審査のベストプラクティスに従って行い、以下が含まれている必要があります：

1. 審査の計画
2. 審査プログラムのマネジメント
3. 審査報告書の起草
4. 不適合報告書の起草
5. 審査作業文書の起草
6. 審査に関連する文書化された情報のレビューおよびマネジメント

7. 現地審査の実施
8. 不適合のフォローアップ
9. 審査チームの指揮

認証の申請

試験（または PECB が認めた同等の試験）に合格した候補者は全員、評価を受けた PECB 資格に対して申請をする資格があります。PECB 認証を取得するためには、特定の教育的・専門的要求事項を満たす必要があります。候補者は、オンライン認証申請書（PECB アカウントからアクセス可能）に、候補者の専門的な経歴を検証するために連絡を取る人物の連絡先を記入する必要があります。候補者は英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、韓国語で応募できます。支払いはオンラインまたは請求書の受領を選択できます。詳細については、certification.team@pecb.com宛にお問い合わせください。

オンラインでの認証申請手続きは非常に簡単で、数分しかかかりません：

- アカウントを[登録](#)する
- 確認用リンクの E メールを確認する
- [ログイン](#)して認証を申請する

認証申請方法の詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

認証部門は、候補者が各資格に関するすべての認証要求事項を満たしているかを検証します。候補者には、認証の判断を含む申請状況に関する E メールが送信されます。

認証部門による申請の承認後、候補者は認証書をダウンロードし、対応するデジタルバッジを請求することができます。認証書のダウンロードに関する詳細は[こちら](#)はこちらを、デジタルバッジの請求に関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。

PECB では英語とフランス語の両方でサポートを提供しています。

専門的な経験

候補者は、職名、開始日および終了日、職務内容など、専門的な経験に関する完全かつ正確な情報を提供する必要があります。候補者は、前職または現在の職務を要約し、各職務の責任内容を説明するために十分な詳細を記載するよう勧められます。より詳細な情報は履歴書に記載することができます。

専門家による推薦状

各申請については、2名の専門家による推薦状が必要です。これらの推薦状は、専門的な環境で候補者と一緒に働いた経験があり、候補者のAIマネジメント経験、現在および過去の職務経歴を証明できる人物からのものでなければなりません。候補者の監督下にある者、または候補者の親族である者の職業上の紹介は無効となります。

AIMS 審査の経験

候補者の聴講履歴は、必要な聴講時間数を修了していることを確認するためにチェックされます。以下の審査タイプは、有効な審査経験となります：事前審査、内部監査、第三者審査、または第三者審査。

認証申請の評価

認証部門は、各申請書进行评估し、候補者が認証または認証プログラムを受ける資格があるかどうかを評価します。申請レビュー中の候補者には書面で通知し、必要であれば追加書類を提出するための合理的な期間が与えられます。候補者が期限までに回答しない場合、または所定の期間内に必要書類を提出しない場合、認証部門は提供された初期情報に基づいて申請を検証し、その結果候補者の資格のダウングレードにつながる可能性があります。

セクション 4：認証方針

認証の拒否

PECB は、候補者が以下に該当した場合、認証 / 認証プログラムを拒否することができます：

- 申請書を偽造した場合
- 試験手順に違反した場合
- PECB 倫理規定に違反した場合

認証 / 認証プログラムが拒否された候補者は、苦情および不服申し立て手続きを通じて苦情を申し立てることができます。より詳細な情報については [Complaint and Appeal Policy](#) のセクションを参照してください。

認証 / 認証プログラム申請費用の返金はできません。

認証ステータスの項目

アクティブ

認証が正常かつ有効であり、CPD と AMF に関する PECB の要求事項を満たすことで維持されていることを意味します。

停止

PECB は、候補者が要求事項を満たさない場合、認証を一時的に停止することができます。その他の認証停止理由は以下の通りです：

- PECB が利害関係者から過度または深刻な苦情を受けた場合（調査が完了するまで認証停止が適用されます）。
- PECB または認定機関のロゴが故意に誤用された場合。
- 候補者が、PEC の定める期間内に認証マークの不正使用を是正しなかった場合。
- 認証を持つ個人が自発的に停止を要請した場合。
- PECB が、その他の認証停止条件を適切と判断した場合。

失効

PECB は、候補者がその要求事項を満たさない場合、認証を失効させる（つまり撤回する）ことができます。このような場合、候補者は PECB 認証を持つ専門家として名乗ることができなくなります。認証失効のその他の理由としては、候補者が以下のような場合を挙げることができます：

- PECB 倫理規定に違反した場合
- 認証の範囲について虚偽の説明をし、虚偽の情報を提供した場合
- その他の PECB 規則を破った場合
- その他 PECB が適切と判断する理由

認証が失効した候補者は、苦情および不服申し立て手続きを通じて苦情を申し立てることができます。より詳細な情報については [Complaint and Appeal Policy](#) のセクションを参照してください。

その他のステータス

アクティブ、停止、失効のほかに、認証を自主的に取り消したり、名誉返却したりすることができます。これらのステータスと永久停止ステータスの詳細については、[Certification Status Options](#) をご覧ください。

資格のアップグレードまたはダウングレード

資格のアップグレード

専門家は、要求事項を満たしていることを証明できれば、すぐに資格をアップグレードすることができます。

アップグレードを申請するには、PECB アカウントにログインし、「My Certifications」タブにアクセスし、「Upgrade」をクリックする必要があります。アップグレード申請料は\$100 です。

資格のダウングレード

PECB 認証は、以下の理由によりダウングレードされることがあります：

- AMF が支払われていない場合
- CPD 時間が提出されていなかった場合
- 提出された CPD 時間が不十分だった場合
- CPD 時間に関する証拠が要求に応じて提出されていなかった場合。

注記：PECB 認証を持つ専門家で Lead 認証を保持する者は、認証資格維持要求事項の証拠を提出しない場合、その資格はダウングレードされます。CPD の提出と AMF の支払いを怠った Master 認証を保持する者は、認証が失効します。

認証の更新

PECB 認証は 3 年間有効です。PECB 認証を持つ専門家は、その資格を維持するために、指定された資格に関連する要求事項を満たさなければならず、例えば、必要な Continual Professional Development (CPD) 時間を満たさなければなりません。さらに、Annual Maintenance Fee (\$120) を支払う必要があります。詳しくは、PECB ウェブサイトの [Certification Maintenance](#) をご覧ください。

案件の終了

候補者が 1 年以内に認証申請を行わない場合、その案件は終了となります。認証期間が終了した場合でも、候補者には案件を再開する権利があります。しかし、PECB は、その案件が終了する前に適用されていた条件、基準、方針、候補者ハンドブックに関する変更については、以後責任を負いません。案件再開を希望する候補者は、certification.team@pecb.com 宛に書面にて申請し、所定の手数料を支払わなければなりません。

苦情および不服申し立てに関する方針

いかなる苦情も、認証決定を受けてから 30 日以内に申し出なければなりません。PECB は、苦情を受理してから 30 営業日以内に、候補者に書面で回答します。候補者は、その回答が満足のいくものでなかった場合、異議を申し立てる権利を有します。

苦情および不服申し立てに関する方針については、[こちら](#)をクリックしてください。

セクション 5：全般的な方針

他の認定認証機関による試験および認証

PECB は、他の公認の認定認証機関の認証および試験を受け入れます。PECB は、その同等性プロセスを通じて要請を評価し、それぞれの認証または試験が、それぞれの PECB 認証と同等であると認められるかどうかを決定します。

差別の撤廃と特別な配慮

全ての候補者の応募書類は、年齢、性別、人種、宗教、国籍、配偶者の有無にかかわらず、客観的に評価されます。

すべての有資格者に平等な機会を確保するため、PECB は必要に応じて、候補者に合理的な配慮³を行います。障害や特定の身体的条件により特別な配慮が必要な候補者は、適切な手配を行うため、パートナー / ディストリビューターにその旨を連絡する必要があります⁴。候補者が提供する障害 / 特別なニーズに関する情報は全て、機密情報として扱われます。障害のある候補者用フォームをダウンロードするには、[こちら](#)をクリックしてください。

行動方針

PECB は、ディストリビューター、パートナー、トレーナー、試験監督、試験官、各種委員会および諮問委員会のメンバー、クライアント（研修生、受験生、認証を持つ個人、認証保持者）といった外部の利害関係者の利益のために、最高品質で一貫性一貫性のある、利用しやすいサービスを提供することを指すとともに、スタッフの安全と福利を確保し、スタッフの尊厳、尊重、人権を重視する良好な職場環境を作り、維持することを目的としています。

³ADA によると、「合理的配慮」には以下のようなものが含まれます：（A）従業員が使用する既存の施設を、障害者が容易にアクセスでき、使用できるようにすること；および（B）職務の再編成、パートタイムまたは勤務体系の変更、空ポストへの配置転換、機器または装置の取得または変更、試験・研修教材または方針の適切な調整または変更、有資格の朗読者または通訳の提供、およびその他障害者に対する同様の配慮。

⁴2008 年 ADA 改正法 (P.L110-325) Sec.12189.Examinations and courses.[Section 309]：中等教育、中等後教育、専門職、または商業目的の申請、免許、認証、または資格認定に関連する試験またはコースを提供する者は、障害者が利用しやすい場所と方法でそのような試験またはコースを提供するか、またはそのような者のために利用しやすい代替手段を提供しなければならない。



本方針の目的は、PECB が、PECB スタッフに対する外部の利害関係者からの容認できない行為を、公平、機密、公正、かつ適時に管理することを保証することにあります。行動方針を読むには、[こちら](#)をクリックしてください。

返金方針

返金方針の要求事項を満たしている場合、PECB は支払い済みの代金を払い戻します。返金方針を読むには [ここ](#)をクリックしてください。



住所：

本社
6683 Jean Talon E,
Suite 336 Montreal,
H1S 0A5, QC,
CANADA



電話 / FAX：

電話：+1-844-426-7322
FAX：+1-844-329-7322

Eメール：



試験：

examination.team@pecb.com

認証：

certification.team@pecb.com

カスタマーサービス：

support@pecb.com



PECBヘルプセンター

よくある質問 (FAQ) の閲覧、
PECB ウェブサイトやアプリケーションの使用マニュアルの閲覧、
PECB プロセスに関する文書の閲覧、またはサポートセンターのオンライン追跡システムによるお問い合わせは、ヘルプセンターをご利用ください。

www.pecb.com